

平成30年度市議会議会報告会における設定テーマ以外の意見等

No.	課題	意見等	市の基本的な考え方や対応状況	担当課等
1	避難の確保	土砂災害防止法によって危険な場所に住んでいる住民の避難確保をすべきである。	土砂災害から命を守るためには、自らが適切な避難行動をとることが重要であることから、土砂災害危険箇所や防災気象情報、避難場所、避難勧告などの判断基準や伝達方法などについて、適切に周知する必要があるため、「避難勧告等の判断・伝達マニュアル(洪水・土砂災害)」を作成するとともに、市の広報紙やホームページを活用し、土砂災害及び洪水に対する市民の防災意識の高揚を図っています。 また、災害の発生が予想される場合には、早めの段階での「避難準備・高齢者等避難開始」を発令し、早期の避難を呼びかけています。	防災管理室
2	子ども医療費の無料化	一日も早く子ども医療費の窓口支払をやめて、本当の意味での無料化を実施してほしい。	子ども医療費の助成事業については、令和元年8月から、これまで未就学児までとしていた現物給付方式の対象を全県統一で小学生まで拡大します。 今後も、子育て世帯が安心して医療を受けられる環境を整えるため、関係機関と連携を図りながら、更なる支援の充実を検討していきたいと考えています。	国保年金課
3	障がい者の歯科医療	大船渡でも、障がい者の歯科診療を行ってほしい。	身体的障害を合併している場合を含む知的障害者の歯科診療については、通常の診療では対処が困難な場合もあり、専門的な歯科診療の必要性を認識しています。 現在、岩手県内での障がい者の歯科治療は、岩手県立療育センターと岩手医科大学附属病院歯科医療センターの2カ所に限られています。 障がい者の歯科診療については、診療に必要な医療設備や、専門の研修を受けた認定医や歯科衛生士などの体制を整備しなければならないなど多くの課題があることから、県や岩手県歯科医師会などと情報共有し、実態把握に努め、その必要性について検討していきたいと考えています。	国保年金課
4	国民健康保険の支給金	お亡くなりになった際には国民健康保険より支給金があるが、他市ではどうか。また、この支給金が火葬費用としての料金理由となっているのではないか。	国民健康保険に加入している方がお亡くなりになったときは、喪主など葬祭主に対して、葬祭費として3万円が支給されます。岩手県内では、3万円の市町村が31市町村で最も多い状況です。 なお、火葬場使用料(市民1万円)の料金との関連はありません。	国保年金課
5	婚活支援	少子高齢化で若い人々が地元になく、いかにして人を増やしていくかが重要である。婚活制度支援など、いろいろと手をつくしていくべきである。(雇用の確保に少しずつでも結びついていくのではないか。婚活支援制度を確立すべきだ。)	市は結婚相談・支援センターを拠点に結婚に係る各種支援を行っており、その取組の一つとして、市内外の企業に大船渡市結婚応援企業に登録していただき、従業員などの各種婚活支援への協力や周知をお願いしています。 また、市外に営業所などをもつ結婚応援企業には、1ターンやUターンを希望する従業員に対し同様のお願いしています。	子ども課
6	子育て施策	子育て施策について。3歳の娘を希望する保育園に入園させたかったが、妻が無職だったため、別の保育園を紹介されたがなぜか。	保育所や認定こども園を利用する場合、保育の必要性に応じて認定した区分によって利用施設を決定することから、「無職のため、別の保育園を紹介された」ということは考えにくい状況です。 なお、定員超過などで第1希望の保育園の受入れができない場合には、保護者の意向を確認のうえ、第2希望の保育園を紹介するなどの入園調整を行っています。	子ども課

平成30年度市議会議会報告会における設定テーマ以外の意見等

No.	課題	意見等	市の基本的な考え方や対応状況	担当課等
7	学校統合に係る空き校舎の利活用	学校統合をするに当たっては空き校舎などの利用も同時並行で進めるべきであり、地域に任せるだけではなく市からの提案があった方がまとまりやすいのではないかと。	空き校舎などの活用については、市全体としての行政需要や地域からの意見・提言などを踏まえながら検討していきます。	学校統合推進室
8		学校統合による空き校舎の活用について検討すべき。		
9		学校統合による空き校舎の有効活用について、地元の意向を尊重してほしい。		
10		統合して、使用していない学校の有効活用をぜひお願いしたい。		
11	地区センターに係る行政窓口の一本化	公民館を地区センターに移行する検討を行っているが、窓口を1本にしてほしい。	地区公民館は、生涯学習を担う施設である一方で、まちづくりの役割が増加していることから、これらの活動を一体的に行う拠点施設として、(仮称)地区センターへの移行を検討しています。 地区に係る業務は、各専門部署が担当することでより充実した住民サービスの提供が可能であり、全ての業務を一つの窓口で行うことはできませんが、教育委員会と市長部局の連携強化や業務の一体化、地区との連絡調整を行う部署の設置などを図りながら、地区に対する窓口を機能的に集約し、業務の効率化に努めていきたいと考えています。	市民協働準備室
12	プール施設の今後の方向性	Y・SセンターとB&Gのプール施設について、今後の維持管理や改良の方向性はどのようなものか。	【地域福祉課】 Y・Sセンターはプール施設のほか、和室や会議室、食堂などを備える多機能施設です。 平成29年度に施設劣化調査を実施しており、今後、ライフサイクルコスト、保全優先度を考慮しながら計画的に修繕や更新を行う予定です。 【生涯学習課】 B&G海洋センターのプールについては、現在策定を進めている公共施設等総合管理計画個別施設計画やスポーツ施設整備基本計画の中で計画的な更新を検討しています。	地域福祉課 生涯学習課
13	障がい者の就労	障がい者の一般就労に力を入れてほしい。	個々の障害程度に合わせた障害福祉サービス(就労移行支援)により、一般就労に向けた訓練などが適切に行われるよう努めています。 また、障がい者支援事業者、職業安定所、光陵支援学校などの関係機関で構成される自立支援協議会の就労部会において情報を共有し、一般就労に向けた支援を行っています。	地域福祉課
14	デマンドタクシーの利用促進	日頃市でデマンドタクシーが運行されているが、時間的な面で利用し難いので、改正してほしい。	日頃市地区のデマンドタクシーについては、利用者や住民からダイヤの変更を望む声があったことから、平成31年4月1日から見直した新ダイヤで運行しているところです。 新ダイヤでは、日頃市発の便を3便から4便に増やし、その利便性の向上を図っています。	企業立地港湾課

平成30年度市議会議会報告会における設定テーマ以外の意見等

No.	課題	意見等	市の基本的な考え方や対応状況	担当課等
15	コミュニティバスの運行	コミュニティバスを運行してほしい。	市では、平成26年度に、バス路線の再編が求められている市内4地区で、コミュニティバスの運行を行ったところ、運賃が無料または定額制であったにも関わらず、利用者が少なかったことから、需要のあった時にだけ運行するデマンド交通や既存の目的バス(患者輸送バス)の活用、タクシーチケット配布などの実証実験を実施しています。	企業立地港湾課
16	水沢行きバスの運行	水沢行きバスを運行してほしい。	水沢線は、本市を含む沿線自治体の運行赤字に対する補助金により路線を維持していましたが、利用者が年々減少したことにより、平成18年3月31日をもって路線の廃止に至ったものであるため、再開は困難な状況にあります。	企業立地港湾課
17	夏虫山の野外活動場所の整備	夏虫山の野外活動の場所を整備してほしい。	施設及び維持管理機器の老朽化が進み、良好な環境の維持が難しい状況にあります。今後、施設の適切な維持管理に向け、機器などの更新を行いながら、良好な環境整備に努めていきます。	農林課
18	冬道の安全確保	県立大船渡病院へ通じる市道田茂山明神前線について、融雪剤を散布する等の対応が必要である。	冬道の安全確保のため、降雪時には除雪や砂散布を実施しているところですが、日陰で凍りやすい箇所については、必要に応じて滑り止め用の砂を設置しています。	建設課
19	道路整備	三陸沿岸道路や内陸部への横軸道路の建設について早急に検討してほしい。(水沢、北上方面)	本市を通る三陸沿岸道路については、順調に整備事業が進捗しているところですが、早期に全線開通するよう引き続き国に対し要望していきます。	建設課
20		白石トンネルを新しくつくるべきである。	また、横軸道路となる国道107号及び397号についても、安全な通行が確保できるよう、県に対し、改良整備について要望していきます。 白石トンネルを含む国道107号については、改良整備が早期に事業化されるよう、県に対し、継続して要望していきます。	建設課
21		交通のアクセスが悪いので、ILCの誘致に影響するのではないかと心配した道路網をつくってほしい。	ILC実現の際には、大船渡港からの資機材の搬送が見込まれるところであり、安定的な輸送が確保できるよう、幹線道路の改良整備に向け、国や県に対し、要望していきます。	建設課
22	歩道橋設置	旧消防署前の国道45号に、災害時の避難路として、また日頃の歩行者の安全確保のため、歩道橋を設置してほしい。	平成29年度に、国、警察署、地区公民館及び市による懇談会を実施し、国より新たな横断歩道橋の設置予定はない旨回答されたところです。 引き続き、安全確保策について、協議など調整に努めていきます。	建設課
23	公園整備等	震災後、子ども達の体力向上のための施設ができなかった。陸前高田市のアバッセのまちなか広場のような屋外での遊び場や身近なところでの外遊びのできる公園が欲しい。	新たな公園整備については、被災跡地の利活用とともに、各地域における公園整備のあり方や方向性を含めて検討しているところです。 4月27日に、大船渡駅周辺地区土地区画整理事業で整備した「夢海公園」がオープンしており、夢海公園には大型複合遊具のほか、山の形状をしたザイルクライミングと青色半透明の斜面をジグザグに滑り降りるモーグルヒルを組み合わせたアスレチック遊具や、幼児用のスプリング遊具などを設置したところです。 その他、同事業において新設整備した「茶屋前公園」にはユニバーサルデザイン遊具を、「笹崎公園」には大型複合遊具を設置しました。	住宅公園課

平成30年度市議会議会報告会における設定テーマ以外の意見等

No.	課題	意見等	市の基本的な考え方や対応状況	担当課等
24	総合公園の計画	・総合公園の計画はどうなったのか。説明があったのか。	市議会、地権者、地区公民館や地域公民館の地元関係者などへ説明し意見を伺い、平成29年度に大船渡総合公園整備計画の見直しを決定し、市広報(平成29年7月20日号)でもお知らせしました。 また、旧総合公園予定地の利活用について、現時点では用途を定めることが困難であることから、当面は一定の整備をしたうえで、将来的な行政需要に備える土地にしたいと考えています。	住宅公園課